

平成27年度当初予算案の概要

平成27年2月17日

予算の特徴

- ◆ 新総合計画、行革大綱がスタート
 - 地域医療体制の確立 → 新病院建設事業費を計上
 - 公共施設マネジメント → 市民との情報共有とアクションプランの策定準備
 - 土地開発公社解散への準備 → 保有土地の事業化

- ◆ 財政健全化への取り組み
 - ① 高い経常収支比率の改善のため経常経費の見直しを行った。
 - * 一般財源総額に上限を設定して予算編成に取り組む。
 - ⇒ 一般財源総額 331.1億円（前年度比 ▲0.9億円）
 - （要因）
 - ・ 消費税増税に伴い、国から消費税交付金を財源とする社会保障関係事業が実施される。（約5億円）
 - * 賃借不動産の見直し
 - ・ 市が賃借している土地・建物などを返却し、固定の削減を図る。
 - 人権センターのメディアライヴへの移転（27年7月予定）
 - くるくる工房堆肥施設の返却（27年10月を予定）
 - ② 財政調整基金からの繰入額10億円以内（前年度 15.3億円）を目標に当初予算を編成する。
 - ⇒ 27年度当初予算政調整基金繰入額 10億円

予算の規模

- ◆ 平成27年度の一般会計の当初予算は、平成26年度対比で 26億円 5.5%増の502.6億円（過去最大規模の予算）
- ※ 主な増加要因
 - ・ 土地開発公社の保有土地の買戻し及び事業化 26.3億円

予算規模の推移

（単位：千円）

年度	H17 当初	H18 当初	H19 当初	H20 当初	H21 当初	H22 当初
予算額	45,879,963	46,885,407	47,586,761	46,116,225	41,682,149	45,066,253
増減率	—	2.2%	1.5%	▲3.1%	▲9.6%	8.1%
年度	H23 当初	H24 当初	H25 当初	H25 当初+6月	H26 当初	H27 当初
予算額	45,059,881	44,596,947	44,139,430	46,985,069	47,656,205	50,258,277
増減率	0.0%	▲1.0%	▲1.0%	※1 5.4%	※2 1.4%	5.5%

※1 H25 当初が骨格予算のため、H24 当初に対する増減率

※2 H25 当初が骨格予算のため、H25 当初+6月（肉付け補正後）との比較

(参考) 国の平成 27 年度一般会計予算 96.3 兆円 0.5%増 (一般歳出 57.4 兆円 1.6%増)
 平成 27 年度地方財政計画 85.3 兆円 2.3%増 (地方一般歳出 69.3 兆円 2.3%増)

◆ 各会計の当初予算規模 (単位：千円)

区分	予算額	前年度比
一般会計	50,258,277	5.5%
特別会計	33,191,788	15.4%
企業会計	11,787,061	2.1%
総計	95,237,126	8.3%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 2.8 億円、1.4% 減の 205.3 億円
 - 市民税 96.7 億円 (H26 96.4 億円、0.3%)
 - 個人 84.9 億円 (H26 83.6 億円、1.6%)
 - 法人 11.8 億円 (H26 12.8 億円、▲7.7%)
 - 固定資産税 85.2 億円 (H26 88.2 億円、▲3.4%)
 - 土地 (現年) 33.4 億円 (H26 32.9 億円、1.8%)
 - 家屋 (現年) 34.5 億円 (H26 36.1 億円、▲4.6%)
 - 償却 (現年) 17.3 億円 (H26 19.2 億円、▲10.0%)

地方交付税の状況

- ◆ 地方交付税は、前年度対比で 1.0 億円、2.1% 増の 49.0 億円
 - 普通交付税 41.0 億円 (H26 40.0 億円、2.5%)
 - 特別交付税 8.0 億円 (H26 8.0 億円、0.0%)
 なお、臨時財政対策債 26.0 億円 (H26 27.0 億円) を加えると、
 75.0 億円 (H26 75.0 億円、0.0%)

繰入金の状況

- ◆ 繰入金は、前年度対比で 5.8 億円、31.1% 減の 12.9 億円
 - 財政調整基金 10.0 億円 (H26 15.3 億円、▲34.6%)
 - 平成 26 年度末 財政調整基金残高見込み 28.9 億円
 - 平成 27 年度末 財政調整基金残高見込み 19.0 億円

繰越金の状況

- ◆ 繰越金は、前年度と同額の 10.0 億円

市債の状況

◆ 市債は、前年度対比で 20.9 億円、40.2% 増の 73.0 億円

合併特例事業債 22.9 億円 (H26 22.3 億円、2.7%)

臨時財政対策債 26.0 億円 (H26 27.0 億円、▲3.7%)

なお、平成 27 年度元金償還額は、50.4 億円

発行額の推移

	H23 当初	H24 当初	H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初	H27 当初
一般会計	37.8 億円	39.2 億円	39.5 億円	49.9 億円	52.1 億円	73.0 億円
うち臨財債	25.0 億円	25.0 億円	25.0 億円	25.0 億円	27.0 億円	26.0 億円

年度末市債残高の推移

	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算見込	H27 予算
一般会計	518.2 億円	516.8 億円	516.8 億円	521.4 億円	544.0 億円
うち臨財債	175.9 億円	196.1 億円	217.3 億円	235.5 億円	248.2 億円

義務的経費の状況

◆ 義務的経費は、前年度対比で 1.8 億円、0.7% 増の 251.8 億円

人件費 97.4 億円 (H26 100.2 億円、▲2.8%)

扶助費 97.8 億円 (H26 94.5 億円、3.5%)

公債費 56.6 億円 (H26 55.2 億円、2.5%)

公債費の推移

	H23	H24	H25	H26	H27
一般会計	49.1 億円	51.7 億円	53.5 億円	55.2 億円	56.6 億円

投資的経費の状況

◆ 投資的経費は、前年度対比で 21.3 億円、66.4% 増の 53.4 億円

投資的経費の推移 (下の行は対前年度比)

H23 当初	H24 当初	H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初	H27 当初
22.4 億円	26.8 億円	17.3 億円	39.5 億円	32.1 億円	53.4 億円
▲45.2%	19.7%	▲35.4%	47.5%	▲18.8%	66.4%

その他の経費の状況

◆ その他経費は、前年度対比で 2.9 億円、1.5% 増の 197.4 億円

物件費 76.9 億円 (H26 76.9 億円、▲0.1%)

維持補修費 4.6 億円 (H26 4.5 億円、2.1%)

補助費等 66.3 億円 (H26 68.9 億円、▲3.9%)

投資及び出資金 7.7 億円 (H26 5.3 億円、47.4%)

繰出金 37.2 億円 (H26 34.6 億円、7.7%)

その他 (積立金 3.6 億円、貸付金 0.9 億円、予備費 0.2 億円)

主な繰出金

国民健康保険 7.0 億円 (H26 6.7 億円、5.8%)

介護保険 15.1 億円 (H26 13.7 億円、10.6%)

後期高齢者医療 13.4 億円 (H26 12.6 億円、6.5%)

その他の財政指標

◆ 一般財源総額 331.3 億円 (H26 332.4 億円、▲0.4%)

◆ 一般財源比率 65.9% (H26 69.8%、▲3.9ポイント)

◆ 地方債依存度 14.5% (H26 10.9%、3.6ポイント)

平成 27 年度当初予算主な事業

1 全員参加型の市政の実施

◆ **生涯学習推進事業費 【臨時】 4 1 2 万 4 千円** 《教育費》

現計画の期間が平成 28 年度で終了することから、市民の生涯学習を推進するための基本的な考え方や方向性を新総合計画と整合を図りながら策定する。

2 納税者の視点で責任ある財政に

◆ **公共施設マネジメント推進事業費 【継続】 5 2 4 万 2 千円** 《総務費》

平成 26 年度に策定した「公共施設等総合管理計画」について市民との意見交換や市民意識調査、シンポジウム等を実施するとともに施設情報の更新作業を実施する。

◆ **大山田終末処理場解体撤去事業費 【臨時】 7 1 2 万 8 千円** 《総務費》

昭和 54 年度に供用開始し、平成 12 年度に三重県流域関連公共下水道に編入したため使用を停止した大山田終末処理場を、施設のマネジメントの一環として解体撤去する。

◆ **旧勤労青少年ホーム解体撤去事業費【臨時】 4, 2 7 1 万 8 千円** 《教育費》

平成 16 年度から 25 年度まで、適応指導教室として利用していた旧勤労青少年ホームを施設マネジメントの一環として解体撤去する。

3 命を守ることが最優先

◆ **新病院整備事業関係費 【継続】 4 8 億 7, 6 9 1 万 9 千円** 《衛生費》

新病院整備に向けた経費を、財源等に応じて 2 会計に計上

(1) 新病院施設整備費用 4 4 億 2, 6 9 1 万 9 千円

建設工事費、監理費

(2) 医療機器整備費用 3 億円

(3) 電子カルテ導入費 1 億 5, 0 0 0 万円

一般会計

病院整備費 7 億 7, 4 7 0 万円 (合併特例事業債)

特別会計繰出金 (重複) 2 0 万 4 千円 (一般財源)

地方独立行政法人 桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計

事業統合費等貸付金 2 3 億 2, 4 4 0 万 4 千円 (病院事業債 23 億 2, 420 万円)
(繰入金 20 万 4 千円)

事業統合費等交付金 1 7 億 7, 7 8 1 万 5 千円 (地域医療再生臨時特例交付金)

- ◆ **健康増進施設導入経費 【臨時】 739万5千円** 《衛生費》
 多度町小山地内の温泉資源を活用し、市民の生活習慣病や疾病予防及び体力増進等の健康づくりの支援を交流の場として整備する。
 整備の手法は、公民連携により、長期的な財政負担が発生することのないよう、民間の資金、ノウハウを積極的に活用するため、アドバイザーを選定し発注支援を受ける。

- ◆ **消防救急デジタル無線整備事業費 【継続】 6億593万3千円** 《消防費》
 消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式に移行する。
 活動波は、桑名市・四日市市・菰野町の3消防本部で一括整備し、四日市市消防本部中消防署中央分署に消防指令センターを置き平成28年4月の運用開始に向け整備を行う。

- ◆ **防災行政無線整備費 【新規】 540万円** 《消防費》
 デジタル同報系防災行政無線を整備するため、調査、試験、整備計画の策定を行う。

- ◆ **防災行政無線運営経費【継続】 2,632万6千円** 《消防費》
 長島地区の民間施設等の指定避難所（11か所）に移動系防災行政無線子局を配備して災害時等の通信手段を確保する。

- ◆ **生活困窮者自立支援事業費 【新規】 2,071万8千円** 《民生費》
 平成27年4月1日施行の生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対し自立支援に関する措置を講じ、生活困窮者の自立の促進を図る。

- ◆ **車両購入費（大山田分署） 【臨時】 3,133万6千円** 《消防費》
 平成18年度登録の高規格救急自動車を更新する。

- ◆ **車両購入費（多度分署） 【臨時】 3,133万6千円** 《消防費》
 平成14年度登録の高規格救急自動車を更新する。

- ◆ **防災拠点施設整備事業費 【臨時】 19億4,307万1千円** 《消防費》
 土地開発公社が保有する公有用地を買戻して防災拠点施設として整備する。

4 こどもを3人育てられるまち

- ◆ **ゆたかな人間関係創造事業費 【新規】 360万8千円** 《教育費》
 児童生徒の人間関係の向上を目指して、「くわなっ子力向上推進事業」を立ち上げ、実践推進校8校（小学校6、中学校2）を選定し満足度調査を実施し研修会等を行う。

- ◆ **就学前施設再編整備費 【継続】 5,732万円** 《教育費》
 就学前施設再編実施計画に基づき、公立幼稚園の再編を行うため、園舎等の整備を行う。
 ・大山田北幼稚園遊戯室増築等施設整備

・大山田北、藤が丘幼稚園送迎用駐車場整備等

◆ **小中連携・一貫教育研究事業費 【新規】 100万円** 《教育費》

小中学校を見通した基本的な生活習慣、規範意識、学習習慣を定着させ、学力向上と中1ギャップを乗り越える力につなげるため、小中学校の教員の互いの教育への理解、関心を高めるなど一貫した教育が進められるよう研究する。

◆ **安全管理対策施設整備事業費 【継続】 9,190万8千円** 《教育費》

安全性、防災性、防犯性を備えた学校施設の整備を行い、安全・安心な教育環境の確保を図る。

小学校 4,060万8千円

窓枠、手摺等の改修工事設計 (大成小)

門扉取り付け (久米小)

ガラス飛散防止フィルム取り付け (修徳小)

屋上フェンス取り付け (益世小)

中学校 5,130万円

屋上フェンス及びガラス飛散防止フィルム取り付け (明正中)

◆ **耐震補強事業費 (多度保育所) 【継続】 3,765万6千円** 《民生費》

耐震診断の結果、補強工事が必要と判断された多度保育所の耐震補強工事を実施する。

5 世界に向けて開かれたまち

◆ **国際化推進事業費 【一部新規】 426万4千円** 《総務費》

平成26年度に策定したスケジュールをもとに、外部有識者を含めた検討協議会を設置して、提携先や交流分野の調査を行う。

◆ **語学指導員経費 【継続】 2,275万9千円** 《教育費》

児童生徒の英語力の向上、国際的視野の拡大を通して、学校教育の充実を図るため、外国人語学指導助手を招致する。

6 地理的優位性を活かした元気なまち

◆ **桑名駅西土地地区画整理事業 【継続】 8億9,406万8千円** 《土木費》

桑名駅西土地地区画整理事業の推進を図るため、次の経費を計上

換地諸費等業務費 1,418万8千円

道路及び整地の詳細設計業務委託、蛸塚益生線道路修正業務委託など

土地地区画整備事業費 8億7,988万円

建物移転補償、道路整備他工事、桑名駅東西地区事業推進支援業務委託など

- ◆ **コミュニティバス運行事業費 【継続】 1億1,192万4千円** 《総務費》
 コミュニティバスの運行により、ルート沿線住民の交通手段を確保する。
 桑名地区5ルート、多度地区1ルート、長島地区1ルート

- ◆ **養老線運営支援事業費 【継続】 5,966万1千円** 《総務費》
 養老線を運営する養老鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。

- ◆ **立地適正化計画策定事業費 【臨時】 830万円** 《土木費》
 将来の人口減少・超高齢社会への対応、地球温暖化負荷の低減を図るため、立地適正化計画を策定し、都市機能の集約と住宅地の効率的な立地誘導を図り、コンパクトシティの構築を目指す。

- ◆ **蛸塚益生線 【継続】 6,853万2千円** 《土木費》
 側道を利用して平成26年7月に暫定供用を開始しているが、本格供用を目指して、未買収地の購入と残工事を推進する。

7 桑名をまちごと「ブランド」に

- ◆ **ブランド推進事業費**
 まちづくりにブランド化の視点を取り入れ、桑名市が持つ様々な魅力や価値を全国へ発信し、展開することで、桑名市内外からの認知と都市イメージ向上を図る。

北勢線運営支援事業費 【継続】 1億887万4千円 《総務費》
 北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。

全国山・鉾・屋台総会、伊勢国一の鳥居建替観光PR事業費 【臨時】
71万5千円 《商工費》

平成27年5月30日の「全国山・鉾・屋台保存連合会総会桑名大会」、31日の「七里の渡し・伊勢国一の鳥居建て替え行事」を周知し、桑名のPR活動を行う。

特別展示費（博物館） 【一部新規】 848万3千円 《教育費》
 博物館開館30周年を記念し、白河市と連携して松平定信に関する大回顧展を開催する。
*大定信展 450万円

文化財保護普及費 【一部新規】 1,243万9千円 《教育費》

全国山・鉾・屋台連合会総会の桑名大会を開催し、全国に桑名石取祭をPRする。

*桑名大会 200万円

文化財保存事業費 【一部新規】 2,378万5千円 《教育費》

諸戸家住宅、石取祭の祭車への補助を行うほか、諸戸徳成邸の保存に向けた調査事業を実施する。

文化事業開催費 【臨時】 440万円 《教育費》

伊勢神宮の式年遷宮に伴い、伊勢神宮の宇治橋外側の大鳥居を貰い受けて、七里の渡しの一の鳥居を建て替える。平成27年5月30日の「全国山・鉾・屋台保存連合会総会桑名大会」、に引き続き、31日に「七里の渡し・伊勢国一の鳥居建て替え行事」を挙げる。

桑名駅周辺施設整備事業費 【継続】 4,000万円 《土木費》

桑名駅周辺整備について、観光や交流の玄関口となる桑名駅の交通結節点としての機能強化とまちなか交流拠点の整備を図るため事業化に向けた調整を行う。

◆ **多度大社・多度峡周辺修景事業費 【継続】 6,705万円 《商工費》**

訪れる人の満足度を高め、地域の活性化を図るため、多度峡、多度大社から多度駅までの旧街道を中心に、街路灯整備や散策路整備などを進める。

◆ **総合運動公園整備事業 【継続】 1億5,141万1千円 《土木費》**

本年度は、サッカー場サブグラウンドの整備区域について、防球フェンス工を実施するほか、用地取得を行う。

◆ **(仮称) 堂ヶ峰公園 【新規】 5億7,730万円 《土木費》**

土地開発公社が保有する公有用地を買い戻して、緑地の整備及び保全を推進するため、市街地に緑を活かした公園整備を行う。